

ういった取り組みができて
仕事には非常に満足して
いる。例えば、糖尿病患者
さんの場合、歯科に紹介さ
れてきたときに「糖尿病と
歯周病の関係」という言葉
を使わなくても「糖尿病の
局所療法」というひと言だ
けで、患者さんは受診を続
けてくれる。また、睡眠時
無呼吸治療に関しても、内
科と連携しており、単なる
マウスピースをつくるだけ
でなく、歯科治療を行うこ
とで睡眠時無呼吸の改善に
役立つという体験をしてい
る。

そういったことで医科歯
科連携というよりも、細胞
に取り込まれたミトコンド
リアのように、歯科も医科
に溶け込んでいくことで、
より良い医療を提供できれ
ばと思っている。

米森先生

日頃の歯科診療において
は、患者さんのライフステー
ジを考えながら、生涯を通
じて、歯がもつてくれるよ
うな治療を理想としている。
だが、それを進めていくに
あたっては、医師の先生と
の関わりなくしては、どの



米森先生

ような治療がいいのかとい
つた答えが出てこないと思
う。この点、今後ともスト
レスがない歯科治療が提
供できる

という意味でも、協会には
医科歯科連携に関する研
修を進めてほしいと思う。

菅田先生

今年一番印象に残ったの
は十月に開催された訪問診
療研究会だ。講師の先生の
講演も非常にすばらしく、



菅田先生

映像などで直接見る機会は
なかなかないので、実際に
見られたことは非常に有意
義だった。医科の方でも在
宅医療についての発言が多
くあったが、歯科の方でも
訪問診療はこれからさらに
重要になってくると思うし、
超高齢化社会を迎える中二
つは増えるだろう。時代に
即したこういった勉強会を
やっていただけると非常に
ありがたいと感じていた。
来年以降もこのような勉強
会が開催されることを期待
している。

女性部の豊かな発展を

山本先生

保険医協会の理事も女性
が三人になり、ようやく女
性部の活動ができるように
なってきた。女性部につい



山本先生

ては、女性で括るのはどう
なのかという意見を他の先
生方から聞くことがあり、
私自身もそういう思いがあ
った。しかし、医療界では依
然として女性はマイノリテ
ィであり、子育てや家事の負
担が男性の医師ではなく、
女性の医師にかかっている
という事実もある。このよ
うな状況の中で苦勞を共に
している女性の医師・歯科

反核医師の会からお礼を

金井先生

私は核兵器廃絶をめざす
富山医師・医学者の会の世
話人代表をしている。この
場を借りて、保険医協会に
三つのお礼を申し上げたい。

一つは、私たちの会には
費収入が多くはなく、いろ
いろな講演会や映写会を開
いている。



金井先生

医師が集まって何かをする
ということが求められてい
ると感じている。

先日開催した第一回女性
部企画では、富山市出身の
映画監督の講演や紅茶の淹
れ方教室を行った。女性特
有のものだと思ふのだが、
先生同士がすぐに打ち解け
ておしゃべりをし、本当に
楽しい会になった。「こう
いう会を三十年待っていま
した」というような意見も
聞かれるなど、やはりこう
いった取り組みが求められ
ているのかなと思っている。
今後は女性部世話人をお
引き受けたい先生方と共
に、引き続き企画をしてい
きたい。男性の先生方も
含め、より多くの先生方に
参加いただけるような取
り組みをしていきたいと思
っており、今後ともご協力
をお願いしたい。

**質の高い発言に目を見張る思い
協会活動に確信を持ってほしい**

田中先生

私は協会を設立する以前
の準備会の頃から約二十年
間、保険医協会の役員、会
長として協会活動に携わ
ってきたが、本日の総会で
質の高い発言を聞き、まさ
に目を見張る思いがしてい
る。

今年はいくつかの協会活
動に参加した。まず、中日
新聞の小出版社の講演会に
参加した。東京新聞(中日
新聞東京本社が発行)の社
説が、自分の気持ちとほと
んど同じような論説が多く
非常に気に入っていること
もあり、内容を聞いてやは
りすばらしいなという思い
だった。

第一回女性部企画にも参
加した。まさに女性の時代
が来るような気がする。せ
つかく医師になっても病院勤
務を続けることができず、
医師の道をあきらめてしま
う女性医師がたくさんいる
が、これはもったいない話
である。たとえ一時的に医
師としての仕事から離れて
も、何らかの形で日本の医
療を向上させていく力にな
れる筈だ。そのための協会
女性部の活動は非常に注目
されると思うし、本当に大
事だと思ふ。



田中先生

それから、高齢終末期の
看取りと胃ろうのフォーラ
ムに参加した。石飛幸三先
生の講演は、私も胃ろうな

いが、心の底では核兵器は
絶対に人類とは共存しない
という気持ちを持ってもら
れることと私は信じている。
その良心をお願いして、こ
れからも協会にはお世話を
かけることになると思うが、
どうぞこれからもよろしく
お願い申し上げます。

また、事務局の能力がす
ごく向上していると思う。
事務局長をはじめ事務局の
働きが協会活動を支え、役
員の先生たちの能力を引き
出して、保険医協会は非常
に立派な活動をしていると
思う。事務局の働きもここ
で皆さんに紹介しておきた
いと思う。

今日のはたくさん先生方
から貴重なご意見やご提案
をいただき感謝したい。明
日からの協会活動の糧にし
たいと思っている。

矢野先生

私たちは、今後とも会員
の先生方から頼りになる協
会を目指したいと思ってい
る。今後ともご意見をお寄
せいただき、協会活動にご
協力いただければありがたい。

それら、高齢終末期の
看取りと胃ろうのフォーラ
ムに参加した。石飛幸三先
生の講演は、私も胃ろうな

このような、時宜を得た

第三十四期 富山県保険医協会役員

会長	矢野 博明 (射水市・内科)
副会長	井本 正樹 (富山市・産婦人科)
理事	大澤 謙三 (砺波市・内科)
	太田 真治 (高岡市・歯科)
	岡宗祐二郎 (小矢部市・歯科)
	川瀬 紀夫 (入善町・内科)
	前川 裕 (富山市・内科)
	三崎 広樹 (射水市・歯科)
	山本 美和 (富山市・内科)
	浅地 聡 (富山市・内科)
	飯田 良彦 (富山市・歯科)
	大菅 明 (朝日町・歯科)
	笠島 學 (高岡市・外産婦人科)
	金子 利朗 (南砺市・産婦人科)
	兒玉 幸久 (富山市・歯科)
	小林 岳志 (富山市・歯科)
	城石 平一 (富山市・内科)
	寺畑 信男 (立山町・整形外科)
	長森 正則 (富山市・内科)
	成瀬 隆倫 (高岡市・内科)
	平野 誠 (高岡市・外産婦人科)
	藤井 久丈 (富山市・内科)
	藤岡 祐紀乃 (砺波市・歯科)
	松田 達郎 (富山市・内科)
	美濃 一博 (魚津市・内科)
	室谷ゆかり (富山市・内科)
	米森 誠 (高岡市・歯科)
監事	金井 正信 (砺波市・内科)
	榊崎 繁喜 (魚津市・内科)
事務局長	平井 隆
相談役	小熊 清史 (魚津市・歯科)
	黒部 信也 (富山市・内科)
	斉藤 隆義 (富山市・内科)
	斉藤 大直 (高岡市・外産婦人科)
	田中 梯夫 (富山市・整形外科)
	横田 力 (富山市・内科)
顧問	撰津 浩二 (射水市・小児科)